

# 令和6年度 川崎市立小学校体育研究会 研究基本構想

川崎市立小学校体育研究会 研究部

## 1. 研究の基本的な考え方について

### 本年度の研究会テーマ

「体と心を育てる体育学習 めあて学習の充実によって、運動の楽しさを味わえる体育学習をめざして」  
～「気付き・活動し・振り返る」を通して、誰もが運動の楽しさを味わえる授業づくり～

令和2年度から全面実施となった学習指導要領では、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成することを重視する観点から、運動や健康に関する課題を発見し、その解決を図る主体的・協働的な学習活動を通して、『知識及び技能』、『思考力、判断力、表現力等』、『学びに向かう力、人間性等』を育成することが目標として示されている。

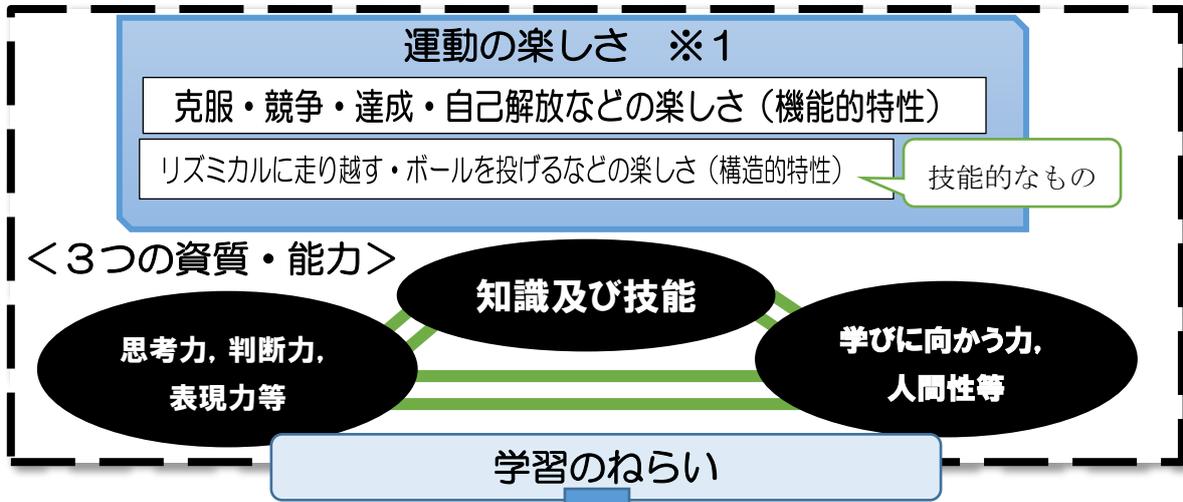
そこで川崎市立小学校体育研究会では、学習指導要領の内容と小学校体育研究会で長年大事にしてきためあて学習を踏まえ、「体と心を育てる体育学習 めあて学習の充実によって、運動の楽しさを味わえる体育学習をめざして」を研究テーマとしている。さらに今年度は体育・保健の「見方・考え方」を重視していくため、今年度は副題を「『気付き・活動し・振り返る』を通して、誰もが運動の楽しさを味わえる授業づくり～」と設定した。昨年度までの「『気付き・考え・活動する』ことの中でも、特に「振り返ること（Reflection）」に重点を置き、活動したことからめあてを見直し、主体的にめあて達成に向けて取り組む姿を追っていきたいと考える。

学習指導要領には、『体育の「見方・考え方」とは、「運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること』と示されている。『保健の「見方・考え方」とは、疫病や傷害を防止するとともに、生活の質や生きがいを重視した健康に関する観点を踏まえ、「個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疫病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること』と示されている。授業実践に当たってはこの副題を強く意識して、すべての子供が自分に合っためあてをもち、「する・みる・支える・知る」といった多様な関わりの中で、自らの課題を仲間と共に解決していく活動を通して、運動の楽しさを味わうことができる体育学習の指導のあり方を探っていく。また、めあて学習においてはその学習の進め方を精査していくことが、主体的・対話的で深い学びを意識した授業づくりにつながると考える。

# 研究構想図

めざすもの

生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現



体育研究会テーマ

「体と心を育てる体育学習 めあて学習の充実によって、運動の楽しさを味わえる体育学習をめざして」  
～「気付き・活動し・振り返る」を通して、誰もが運動の楽しさを味わえる授業づくり～

めざす子供の姿

自分のめあてを達成しながら、運動の楽しさを味わう子

学習テーマ 単元を通して考えていきたい学習テーマを書く。

## Anticipation（見通し・予測）

○気付き・考える  
めあてを達成するための課題をどのように解決していくのか見通しをもつ。

試行錯誤  
気付き・考え⇔活動するを1時間の中で繰り返し、学び直しをしていく。

## Reflection（振り返り）

○振り返る  
・課題は解決できたのか。  
・どんな新たな気付きがあったのか。  
・次時へのめあてをもつ。

教師の指導※2

## Action（行動）

○活動する  
・めあてを達成するための動きを意識してゲームを行ったり、課題解決の場で活動したりしていく。

学ぶ意欲

※1 運動の楽しさ：克服・競争・達成・自己解放などの機能的特性とリズムカルに走り越す・ボールを投げるなどの構造的特性を運動の楽しさと捉える。

### ※2 教師の指導

指導内容を明らかにすること（どんな楽しさを求めるのか、どんな資質・能力を育むのかを考える。）  
指導方法のプランをデザインする（学習の道すじや・めあて達成の仕方を考える。）  
子供との関わり（場や教具の提示や教師の関わり）（言葉かけ・補助・子供同士をつなぐ）

### ※3 AARサイクル

OECDの「Learning Compass 2030 (ラーニング・コンパス 2030、教育の羅針盤)」では、未来に対応する学習サイクルとして【Anticipation (予測) -Action (実行) -Reflection (振り返り) (AAR) Cycle】を強く推奨している。OECDによれば、AARの学習サイクルを繰り返す学習によって、変化の激しい社会でも効果的に学ぶことができると指摘している。

## 2. 重点研究課題

### 【今年度の重点研究課題】

**子供の学びを明らかにし、めあて達成にむけての有効な関わり方や、課題解決の在り方を検証する。**

今年度は重点研究課題を「子供の学びを明らかにし、めあて達成にむけての有効な関わり方や、課題解決の在り方を検証する」とする。重点内容の大きな変更はないが、AARのサイクルの中でめあて達成に向けてどのような関わり方や課題解決が有効だったのかを分析していく。AARサイクルとは、ある程度の見通しが立ったらすぐにやってみて、活動の中で修正し、少しずつ課題を解決していくという手法である。めあてをより自分事として捉え、失敗から学ぶ、トライアンドエラーのマインドに近いAARは試行錯誤しながら取り組むめあて学習により適していると考えられる。よって、めあて達成に向けた活動がどうだったのかを子供自身が振り返り、次にどのようにしていったらいいかを考える時間が大切になってくると考える。

AARのサイクルの中で子供のめあて達成に向けて、指導者は子供の学びや困り感をどのように把握し、その子に応じた指導の手立てを、単元の(授業の)どのような場面でどのような関わりを行っていくのか、またその指導(場も含めた)が課題解決に有効に機能する手立てだったのかを分析していく。

#### 重点研究課題

どのような振り返りがあったのか、その振り返りに対して教師のどのようなかかわり方(言葉かけや場、子供同士をつなぐことなど)が有効だったのか検証していく。

### Anticipation (見通し・予測)

○気付き・考える

めあてを達成するための課題をどのように解決していくのか見通しをもつ。

### Reflection (振り返り)

○振り返る

めあてを達成するための活動はどうだったか、設定しためあては適していたかなどを振り返り、次のめあてへとつなげる。

### Action (行動)

○活動する

めあてを達成するための動きを意識してゲームを行ったり、課題解決の場で活動したりしていく。

## 3. 重点研究課題にせまるための視点

<「つなぐ」を意識した教師のかかわり>

#### ① 言葉かけ(「気付きや考え」をつなぐ)

・教師が安易に教えずに主体的に子供が気付き・考えることができる投げかけを探る。(オープンクエスチョンを意識して)

#### ② 場(「子供の「めあて」とめあて達成に向けての「活動」をつなぐ)

・一人一人の課題解決に適した場やルールを探る。

#### ③ 人と人をつなぐ手立て

・めあて達成に向けて必要なかかわりについて探る。(子供⇔教師、子供⇔子供など)

#### 4. めあて学習について

##### ①めあて学習の定義について

### めあて

体育学習における、挑戦・克服・達成すべき動きや記録・ルール（規則）の工夫・進んで行く態度などの運動の楽しさ・楽しみ方の方向性、学習指導要領に示されている3つの資質・能力を具体化したものが「学習のねらい」である。そして、「学習のねらい」を学級全体としての目標とし、それを達成するために、個人がそれぞれの力に応じて、自らの意志で設定したより具体化した目標を「めあて」として考える。

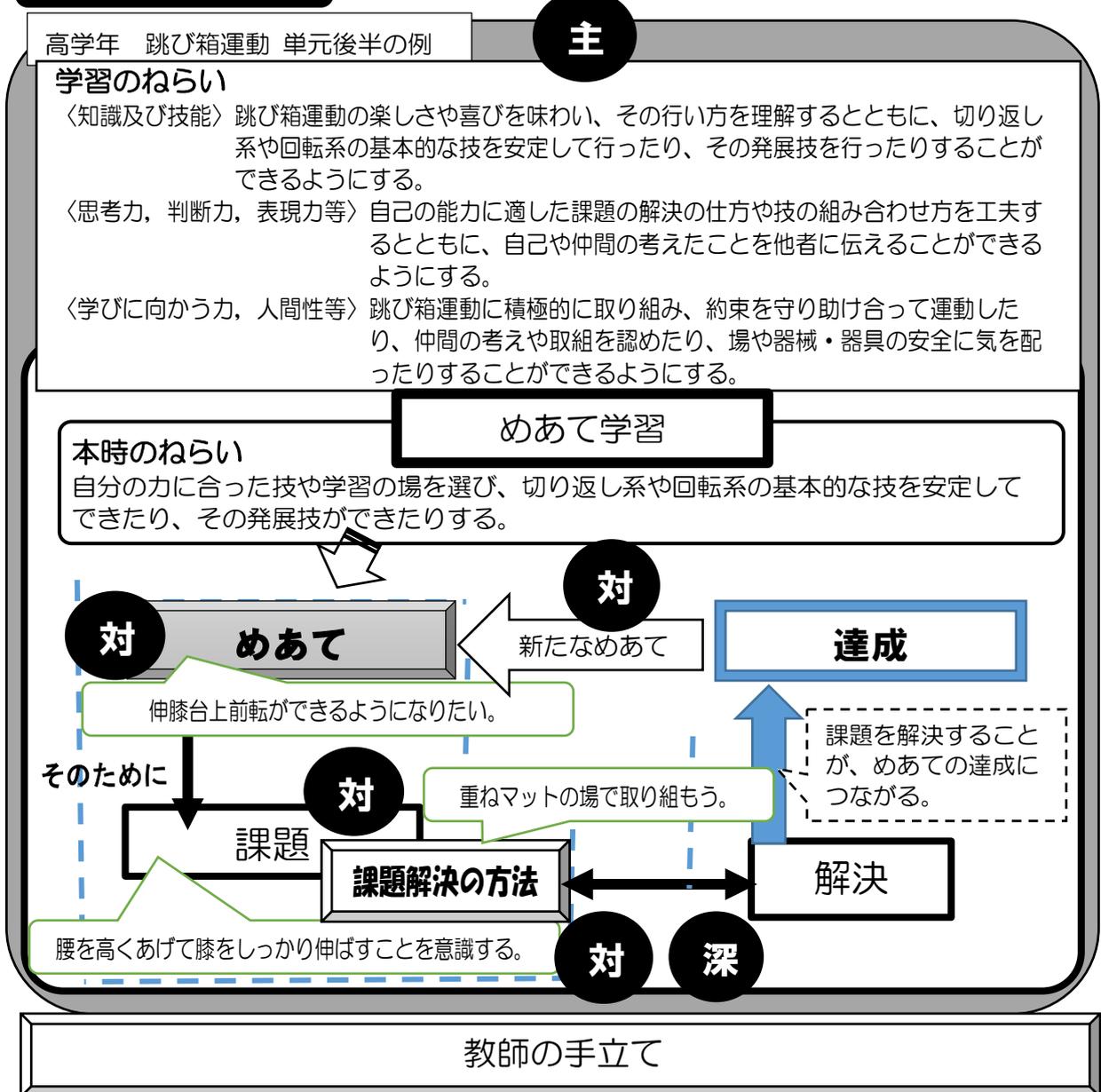
### めあて学習

教師の指導や友達との関わりなどにより、子供たち一人一人が、自らの意志で設定した「めあて」をもち、そのめあてを達成するために課題を見付け、その課題を解決して、自らのめあてを達成する学習だと考える。また、主体的・対話的で深い学びを意識して取り組むことが、めあて学習の充実につながり、運動の楽しさを味わうことになると考える。

※教師の指導：言葉かけ、場・教具の提示、見守りなど、学習のねらいにせまるために行う、全ての手立て

### めあて学習構想図

…子供に提示する「めあて」（めあて、課題、課題解決方法）



## ②めあて学習の解釈について

「学習（各時間）のねらい」「学習（各時間）の目標」に向けてその時間に、自分の力に合わせて考えた、

**「今日は～をがんばりたい。そのために～に気をつけて、～の場で、運動するぞ！」**

という「めあて」、そして、そのめあてを達成するために設定した「課題」とその「解決方法」を含め、「めあて」と考える。教師は、めあてと課題とを分けて考えるが、学習中に子供に提示する場合は、めあてと課題を合わせてめあてとして捉える。（学年によっては、めあてのみの場合もある。）学習、学年が進むにつれて、より具体化すると考える。学習指導要領にある課題、解決という言葉を含めて、めあて学習と捉える。

## ③めあて学習の必要性について

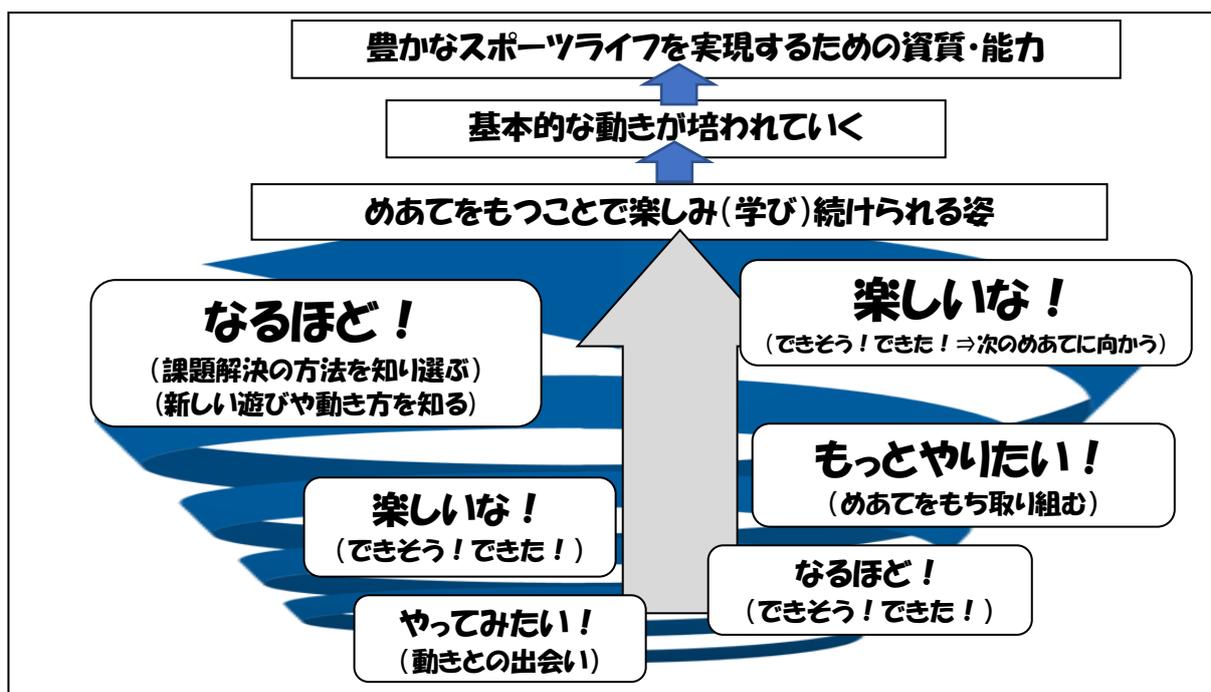
各時間のねらいに向けて、個々が「めあて」をもって自ら、また友達と一緒に取り組み、解決に向けて試行錯誤を重ねながらよりよく取り組む学習を「めあて学習」と捉える。自ら進んで体育学習に取り組んだり、友達と共に体育学習に取り組んだりしながら、より良く3つの資質・能力を育むことやより良く運動の楽しさを味わうためにはめあて学習が有効だと考える。めあて学習の充実は、自ずと子供が主体的に学ぶこと、友達と共に対話的に学ぶこと、試行錯誤しながら深く学ぶことにつながる。また、主体的・対話的で深い学びを意識した授業づくりを行うことは、めあて学習の充実につながる。そのため、学習指導要領に示された授業改善の視点である「主体的・対話的で深い学び」の実現のためにも、めあて学習が大切だと考える。

### 主体的・対話的で深い学びについて

	場面の例	内容
<b>主体的な学び</b>	学習全体	運動の楽しさや健康の意義に気付き、運動や健康についての興味や関心を高め、課題の解決に向けて粘り強く自ら取り組み、それを考察するとともに学習を振り返り、課題を修正したり新たな課題を設定したりするなどの主体的な学びを促すこと。
<b>対話的な学び</b>	めあてや課題の設定 課題の解決	運動や健康についての課題の解決に向けて、児童が他者（書物等を含む）との対話を通して、自己の思考を広げたり深めたりし、課題の解決を目指して、協働的な学習に取り組むなどの対話的な学びを促すこと。
<b>深い学び</b>	課題の解決	それらの学びの過程を通して、自己の運動や健康についての課題を見付け、解決に向けて試行錯誤を重ねながら、思考を深め、よりよく解決するための深い学びを促すこと。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてを達成するために課題に取り組む姿。</li> <li>・課題解決学習の中で新たな課題を見付ける姿。</li> </ul>

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進については、指導方法を工夫して必要な知識及び技能の習得を図りながら、子供たちの思考を深めるために発言を促したり、気付いていない視点を提示したりするなど、学びに必要な指導の在り方を追求し、必要な学習環境を積極的に設定していくことが大切である。

（小学校学習指導要領解説 体育編より）



令和4年度高津支部体づくりの研究より抜粋

#### ④めあてをもつことができるために

- (1) 言葉かけで
  - ・思わずできたとき、なかなかうまくできないときには、教師が動きのポイントを教える。  
「起き上がるタイミングがよかったね」「着地で前を見ると体が起きるよ」
- (2) 発問で
  - ・言葉かけを、疑問形にする。「なんで得点が決まったのだろう？」
- (3) 選択肢を与えて
  - ・いくつか例示し、選ぶことができるようにする。  
「Aの場合は～ができるね。Bの場合は～ができるね。どちらが必要かな？」
- (4) 友達や教師の運動を見て
  - ・良い動きを例示し、ポイントに気付くことができるようにする。  
「～さんと、先生の前転の違いは？」
- (5) ICT機器を活用して
  - ・動きを動画で確認したり、良い動きの動画と比べたりし、自己の課題に気付くことができるようにする。
- (6) 学習カードで
  - ・本時の振り返りから、次時のめあてをもてるようにする。めあてが合っていない場合は、軌道修正する。「今日は～に気を付けて～ができるようになった。次は、～の場で、～に挑戦しよう」

## 5. 小中学校のスムーズな接続

学習指導要領に基づいた小中のつながりと系統を意識した学習計画を立て、それぞれの学年に応じた学習のねらいを示していく。そして、子供たちが確かな体力と技能を身に付けることができるカリキュラムづくりを進めていく。また、同地区の中学校の研究授業を参観や、小・中学校体育・保健体育研究発表会を通して、指導内容の理解、教師間の交流を図る。

## 6. 研究の進め方 (支部研究のテーマ)

令和6年度各支部の研究領域

川崎支部	幸支部	中原支部	高津支部	宮前支部	多摩支部	麻生支部
表現	保健	器械運動 (鉄棒運動)	ボール運動 (バスケットボール)	器械運動 (跳び箱運動)	ボール運動 (ティールボール)	器械運動 (マット運動)

	昨年度の支部研究テーマ
川崎 (表現)	題材から特徴や感じを捉え、めあてをもって表現することを楽しむ姿をめざして ～子供も教師もやりたくなる表現運動～
幸 (保健)	心と体の健康について、毎日健康で過ごすための方法を知り、めあてをたてて生活することを楽しむ姿
中原 (器械)	誰もが夢中になって楽しめる鉄棒学習！ ～見通しをもち、試行錯誤(気付き→考え→活動)を繰り返しながら取り組める鉄棒学習の在り方を探る～
高津 (ボール運動)	めあてをもつことで楽しみ(学び)続けられる姿を目指す ～やってみたい！なるほど！楽しいな！の学習を通して～
宮前 (器械)	採点、再考、再挑戦！自分の技を考える楽しい跳び箱運動の学習
多摩 (ボール運動)	チームのために自ら気付き、考え、動く！ ～どの子も運動の楽しさを味わえるティールボール学習を目指して～
麻生 (器械)	自己と仲間のよさや課題を見付け伝え合う体育学習 ～考えを共有する活動を通して～

## 7. 授業日について

(7月3日保健領域のみ可)・10月23日・11月6日・11月20日・1月22日を授業研究日(候補日)とし、常任委員授業と会員授業で構成する。

※会員校(○)・常任委員授業(☆) 希望日程一覧 (6月現在の希望)

支部名\日程	7月3日	10月23日	11月6日	11月20日	1月22日
川崎 (表現)		○東門前小	☆東大島小		
幸 (保健)	☆小倉小			○西御幸小	
中原 (器械)				☆上丸子小	○玉川小
高津 (ボール運動)				☆高津小	○久地小
宮前 (器械)				○稗原小	☆向丘小
多摩 (ボール運動)		○生田小	☆稲田小		
麻生 (器械)			☆南百合丘小	○麻生小	